

変わりがトカラ情報

南北160km 「心をつなぎ 気概に満ちた」十島の教育

十島村教育委員会
〒892-0822 鹿児島市泉町13番13号
TEL 099-227-9771

4月・・・トカラに新しい風を

十島村教育長 有村 孝一

4月1日23時です。「フェリーとしま」は、大勢の人々の見送りを受けて静かに鹿児島港を離れました。船上から見送りの人を見ていると、先ほどまでの激励の声がまだ続いていました。私も十島村に赴任する先生方に同行しました。

出航前は、桟橋のいたるところで、丸い輪になって「フレーフレー〇〇先生」「フレーフレー〇〇先生」という声が、聞こえてきました。家族と別れをする先生、家族ぐるみの異動で激励を受けている先生、先日まで十島村に赴任して見送りに来た先生、それらをじっと見守っている県教育委員会の方々、それぞれが惜別の思いで見送っているようでした。



出航に先立って、19時から転任教職員宣誓式が行われました。式には、転入される先生方、役場職員、鹿児島教育事務所の先生方に出席していただきました。そして、肥後正司村長と鹿児島教育事務所の大脇俊朗所長からは、激励の挨拶をいただきました。

平成27年度は、新たに情熱あふれる30人の先生方に赴任していただきました。

私はあいさつの中で、「7つの島それぞれに特徴があり、十島村の大自然が皆さんを迎えてくれます。不安もあることですが、そこには、先生方を待っている子どもたちがいます。今は、鹿児島から遠く離れていくという気持ちですが、そうではなくて、先生方を待っている子どもたちに、近づいて行くんだと思っただきたい。」と話しました。

翌朝5時30分、先生方を

船は口之島に着きました。2人の先生が降りますと、まだ明けきれない中、子どもたちが大歓迎をしていました。船は次々に南下して、それぞれの島における特色ある歓迎が宝島まで続きました。先生方もやっと島に到着し、子どもたちとの出会いの中で、これからの生活に胸を膨らませているようでした。その日のトカラの天気は、快



晴。先生方を迎えて、トカラの島々にさわやかな新しい風が吹きぬけていました。

春風や 闘志いだきて 丘に立つ (高浜虚子)

体に留意して、十島村の子どもたちのために、先生方の持てる力を十分に発揮され、ご尽力くださいますようお願いいたします。先生方のご健康とご活躍を祈念いたします。



平成27年度転任教職員宣誓式

4月1日(水)午後7時、十島村役場4階大会議室で転任教職員宣誓式が開催されました。

肥後村長、大脇教育事務所長、有村教育長の激励の言葉に対して、代表で口之島小・中学校の知念校長が「十島村の宝にふれ、教育に携わる誇りをもち子どもや地域の方々とのふれあいを大切にしていきたい。」と挨拶しました。

その後、学校毎に前に出て、一人ずつ挨拶をされました。どの先生も緊張の中にも「頑張るぞ!」という意気込みに溢れていました。

学校名・校種	小学校転入者	中学校転入者	合計
口之島小中学校	3人	1人	4人
中之島小中学校	0人	1人	1人
平島小中学校	3人	2人	5人
諏訪之瀬島分校	2人	2人	4人
悪石島小中学校	2人	1人	3人
小宝島分校	3人	4人	7人
宝島小中学校	2人	4人	6人
合計	15人	15人	30人

《十島村教育委員会職員異動》

- 日高広登課長 → 肥後勇喜課長(土木交通課から)
- 平田直巳主事 → 牧元敦志主事補(新規採用)(地域振興課主事へ)



シリーズ——新聞に投稿して
(平成27年3月30日南日本新聞掲載)
宝島小学校3年 寺田 碧海

「ブルルルル…もしもし、えっ生まれたの」。夜、台所でお皿をあらっていたお父さんが妹と電話をしている。私は生まれたと聞いたしゅん間に、台所へふつとんでいった。そして、「何、何、もう生まれたの。ね

え、ねえ」と、とてもわくわくしながらお父さんに聞いた。「うん、生まれたって」。お父さんもとてもうれしそう。私は天井にとどくくらいうれしくて、ソファの上でビョンビョンとびはねて、うまれたばかりだから小さいのかな。名前は何かがいいかな」と、いろいろ考えた。

宝島には病院がないので、お母さんはあま美大島で出さんした。電話が終わると、お父さんと名前をどうするか話し合った。そして、この前お母さんとも考えた結という漢字と、お父さんの名前の一文字をとった結樹(ゆづき)に決まった。



よく日、お父さんとフェリーに乗って、あま美大島に行った。おじいちゃんとおばあちゃんと妹が待っていてくれて、一緒に病院に向かった。お母さんは一番奥の部屋にいた。ひさしぶりに会えたので、うれしくて学校でのことなど、いろいろな話をした。そして、新生児室にいる弟に会いに行った。だっこすると、温かくて軽かった。ミルクをあげると、ごくごく飲んだ。とってもとってもかわいくて、写真をいっぱいとった。早く大きくなって、いっぱい、いっぱい遊ぼうね。

村内全7校で入学式

平成27年度入学式が4月6日(月)村内各小中学校で行われました。今年度は、全7校で入学式が行われました。新たに小学校に6名、中学校に11名の新入生が入ってきました。特に、平島小学校では、11年ぶりの入学式で、有村教育長も参加して記念すべき盛大な入学式になりました。



小学校		中学校	
口之島小学校	1名	口之島中学校	1名
中之島小学校	1名	中之島中学校	1名
諏訪之瀬島分校	0名	諏訪之瀬島分校	2名
平島小学校	1名	平島中学校	0名
悪石島小学校	0名	悪石島中学校	2名
小宝島分校	3名	小宝島分校	1名
宝島小学校	0名	宝島中学校	4名
計	6名	計	11名



シリーズ——山海留学生として学ぶ
島に来て学んだこと
平島小学校諏訪之瀬島分校6年 岸 泰生

僕は平成26年の4月に諏訪之瀬島に来ました。いざ、諏訪之瀬島に行くとなると、今まで住んでいた横浜の友だちとも会えなくなるし、慣れない場所に行くので不安な気持ちでいっぱいでした。そんな不安をかかえながらの諏訪之瀬島到着でした。初めの2,3日は誰とも友だちになれず落ち込んでいました。そんな時、島のみんなが一



緒に遊ぼうときそってくれました。みんなの方からさそってくれたので、とってもうれしかったです。それまでの暗い気持ちも、一瞬で吹き飛びました。

諏訪之瀬島分校は、児童生徒が14名と少ない分、先生達が一人ひとりに真げんに向き合ってくれます。おかげで学力がぐんと上がりました。

また、海や山に囲まれて、自然とふれあう機会が増えました。1年過ぎましたが、諏訪之瀬島に来てよかったと本当に思います。これからも、島での生活を十分楽しみたいです。



十島村の小・中学校からのメッセージ

口之島中学校 教頭 花田 豊

口之島小・中学校に赴任して早くも一年。島に赴任すると必ず感じる「もう何年もいるような心地よい」感覚がよみがえってきた。口之島で3回目になる離島生活では各島それぞれの楽しみも味わってきたつもりだが、ここ口之島での楽しみと言えば、未だに見つけられないまま月日が流れてきたように感じる。曜日に関係なくフェリーの入・出港があるからだろうか…。いや、今回は少し違う感覚がある。それは「児童生徒や職員のために…」「学校や口之島のために…」という気持ちが非常に強いからだ。そのためか、休みなく動き回っても苦にはならない自分がいることに気づき、時間が欲しいときえ感じている。

例えば、学校までの案内や観光客への道案内の看板の作成、校内の整理整頓、部活動の指導など、毎日が充実している。もちろん、学校に必要な仕事も…。

また、学校は地域の活性化に寄与し、高齢化や少子化の不安を和らげる役割を担っている。そして、我々学校職員も島民の一人として重要な立場に置かれている。その中でも、山海留学生やIターン家族の受け入れなどにも積極的に関わり、いつでも受け入れる気持ちと態勢を整えている。

これからも、この素晴らしい口之島小・中学校の児童生徒たちや先生達を支えていけるような刺激を与え続けたいと思っている。みんなが、笑顔になれる環境が一番。自分の楽しみは、その後でもいいだろうと感じている。



教職員であるあなたへのメッセージ

子どもたちが、一生懸命に活動する姿がうれしい。褒めるときも叱るときも、その子の成長が見たいから…。こんな小っ恥ずかしい言葉を口にして自分を、今まで誰が想像しただろうか。

しかし、それくらい素直になれるのは十島だからだと感じている。来なきや分らない魅力が格別に心地いい。